

〔曲名〕 Reverie de Poete

詩人の夢

〔曲種〕

〔作曲者〕 Giuseppe Manente

ジュゼッペ マネンテ

〔編曲〕

本曲は筆者の編曲ではないが、佳曲でありながら余り知られていないものは随時紹介しておきたいと思う。

本曲は作品番号を持っていないが、マチョッキが主宰していたL'Estudiantina誌の1926年11月号に載ったものである。

1934年L'Estudiantina誌がL'Orchestra a Plectreと誌名を改めた時期に、“ エステュディアンティナの忘れられた主な作品” と題して、

その主な出版目録が出されたことがあり、その中に本曲も含まれている。

何と云っても本拠がパリにあり、此処はマチョッキの作品、編曲が主であるが、

フランスのマンドリン作曲家、ピュトラペルトーサ父子、コッタン兄弟、カンナ、特にメニケッティなどは本邦でも、

よく愛奏されて馴染まれているが、奏くほどに飽き易い感じが否めないのは筆者だけなのであろうか。

イタリアのアマディ、マネンテなどとの違いを含味されたいのである。

1993年 8月 発行

マンドリン合奏曲集 8 集 (JMU版 パート譜付) より